

位相空間論第一（講義）(MTH.B201)

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

`http://www.official.kotaroy.com/class/2024/top-1`

東京工業大学理学院数学系

2024/05/21

お願い

- ▶ 授業学習アンケートにご協力ください。
T2SCHOLA のトピック「一般」の冒頭においてあります。
- ▶ 位相空間論第一の講義は今回が最終回です。ご聴講ありがとうございました。
20日 町点 10名 / 40名
- ▶ 来週5月28日に定期試験を行います。お忘れなきよう。

Q and A

Q: 無限集合を「有限集合でない集合」と定義していましたが、「元が無数にある集合」と定義しても問題ないですか？

問題あり

Q: 無限個の交わらない可算集合の和集合は可算集合になりますか。

正しくない

\mathbb{N} と可算

命題 (命題 9.13)

Λ 可算集合, $(A_\lambda)_{\lambda \in \Lambda}$: 可算集合からなる集合族

$\Rightarrow \bigcup_{\lambda \in \Lambda} A_\lambda$ は可算集合

$$A_\tau = \{(\tau, n) ; n \in \mathbb{N}\} \subset (\mathbb{R} \times \mathbb{N}) \quad \tau \in \mathbb{R}$$

$$\bigcup_{\tau \in \mathbb{R}} A_\tau = \mathbb{R} \times \mathbb{N} \quad \text{非可算}$$

Q and A

$\overset{=}{{\aleph_0}} = |\mathbb{N}|$

Q: \aleph_0 を可算の濃度ということですが、無限集合なのになぜ可算というのですか。

X と \mathbb{N} の 1対1対応がある

$$\Leftrightarrow |X| = \aleph_0$$

概える: 自然数と 1対1対応を (明確に) つく。

Q and A

Q: 実際に $|(0, 1)| = |[0, 1]|$ などを証明するとき, どのように考えて写像をつくるのか聞きたい. 時間がかかってしまう.

かたて下すん.

$$f: (0, 1) \rightarrow [0, 1] \quad \text{全単射.}$$

(かたて下すん)

Bernstein の定理

$$f_1: (0, 1) \rightarrow [0, 1] \quad \text{単射 かたて下すん}$$
$$f_2: [0, 1] \rightarrow (0, 1) \quad \text{単射.}$$

$$\Rightarrow \exists f: (0, 1) \rightarrow [0, 1] \quad \text{全単射.}$$

Q and A

Q: 黒板 B にて, 集合の濃度は「無限集合の元の個数のあるひとつの測り方」とありますが, 無限集合の元の個数を測る他の方法とは何でしょうか.

“集合” + “構造” 構造に別した測り方

$$|\mathbb{R}^2| = |\mathbb{R}|$$

• \mathbb{R}^2 \mathbb{R} : ベクトル空間
② 次元 ①

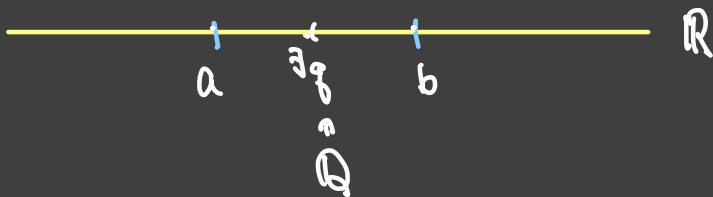
Q and A

dense

density

Q: $|\mathbb{Q}| = |\mathbb{N}|$ が授業で分かったが、 $|\mathbb{R}| > |\mathbb{N}|$ ということも教わったが、感覚として有理数の稠密性から、 \mathbb{R} の間に \mathbb{Q} が必ずあるため、 \mathbb{R} は \mathbb{Q} と同程度の濃度だと思っていたため、どうしてダメなのかが気になった。

$(a < b)$ '構造'



講義

この後、短い休憩をとり、「講義」を行います。

1 復習

2 連続体濃度 (テキスト §9)